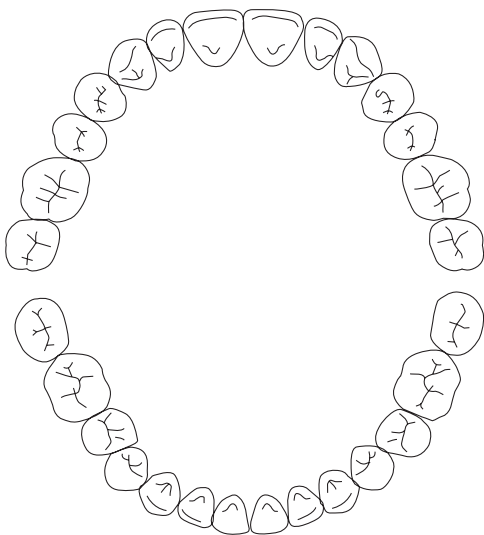


歯間ブラシを使用するところ

年 月 日



コメント

※歯と歯の間にあったサイズをおえらびください。

歯科医院取扱品

ガム・歯間ブラシL字型

- POINT-1** 新開発の三角毛
エッジでプラークをかきとるように落とすので効果的に歯間部を清掃できます。
- POINT-2** 臼歯部への操作性
ネックがL字型になっているので臼歯部の舌側・頬側どちらでも無理なくアプローチできます。
- POINT-3** 耐久性に優れたパワー合金ワイヤーを採用
汎用のワイヤーに比べて耐久性に優れています。



サイズ	1 (SSS)	2 (SS)	3 (S)	4 (M)	5 (L)
ハンドルカラー	ホワイト	ブルー	イエロー	ピンク	グリーン
最小通過径 (mmφ)	~0.8	0.8~1.0	1.0~1.2	1.2~1.5	1.5~1.8

※サイズ表記は全日本ブラシ工業協同組合による通過径の自主規格に基づくものです

歯間ブラシのご使用については当医院の歯科医師・歯科衛生士にご相談ください。

®登録商標。GUMは登録商標です。

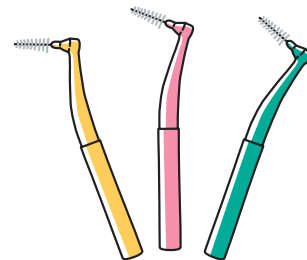
サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1
お客様相談室 ☎0120-008241

SUNSTAR

ORAL BOOK

歯周病菌とたたかう
G·U·M
HEALTHY GUMS. HEALTHY LIFE.

ブラッシングだけではきれいにできません。
歯と歯の間はプラーク(歯垢)がたまりやすい部位です。
歯間ブラシを使ってきれいにしましょう。



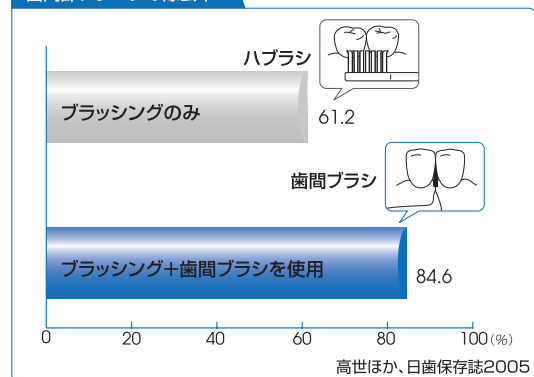
ガム・歯間ブラシL字型

プラークは歯間部にたまりやすい

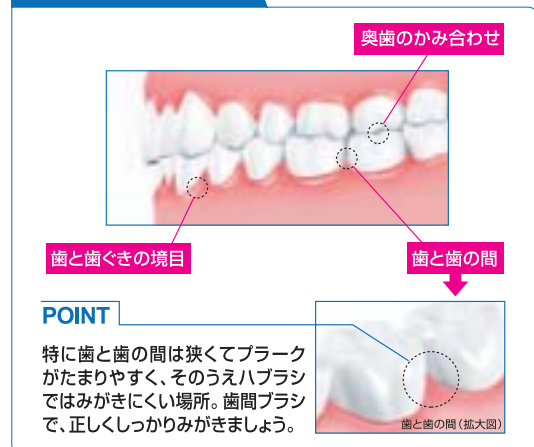
ハブラシのみがけだけでは歯と歯の間のプラークを落とすことはできません。

ハブラシと歯間ブラシの併用が、歯と歯の間のプラーク除去には効果的です。

歯間部プラークの除去率



プラークのたまりやすい部位



歯間ブラシの使い方

- ・歯間部のサイズにあった大きさの歯間ブラシ (SSS～Lサイズ) を歯科医院で選びましょう。(SSSが入りにくい場合はデンタルフロスをご使用ください。)
- ・歯間ブラシL字型はワイヤーを曲げずにご使用ください。

STEP 1

歯間部のサイズにあった大きさのブラシを選びます。



STEP 2

歯ぐきを傷つけないように注意してゆっくりと歯と歯の間に挿入します。



STEP 3

数回往復運動をして、プラークを除去します。



STEP 4

使い終わったら水洗いして乾燥させておきます。



使用上のご注意

歯や歯ぐきを傷つけないように注意して、より効果的にご使用ください。

歯間ブラシは歯科医師・歯科衛生士の指導のもとご使用ください。

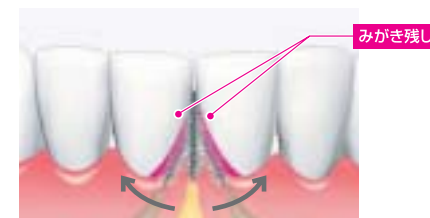
歯肉の損傷・歯面の磨耗

ブラッシング時に力を入れすぎて歯ぐきを損傷したり、ブラシのサイズが合っていないと歯面を磨耗することがあるので、注意が必要です。歯間ブラシのサイズ選択や使用にあたっては、必ず歯科医師、歯科衛生士の指導を受けて、正しくブラッシングしましょう。



歯面に当たっていない例

歯と歯の間が広い場合は、ブラシに多少角度をつけてみがくようにしてください。



こんなところも効果的!

- ・欠損歯の間
- ・ブリッジ装置の周辺部
- ・矯正装置のワイヤーの下